

# simc News Letter

Sendai International Music Competition

2024年7月20日号

## 仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門第2位 デニス・ガサノフ出演  
仙台市民交響楽団第88回定期演奏会演奏評 須永 誠(音楽ジャーナリスト)



提供：仙台市民交響楽団

仙台市民交響楽団第88回定期演奏会

日時：2024年6月16日(日) 14:00 開演

会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール

指揮：松井慶太

ヴァイオリン：デニス・ガサノフ

曲目：シベリウス／組曲『歴史的情景』第1番 op.25 より「序曲風に」  
シベリウス／ヴァイオリン協奏曲二短調 op.47

サン＝サーンス／交響曲第3番ハ短調「オルガン付」 op.78

コンクールでも指摘されたように、使用するヴァイオリンの響きは必ずしも豊かではない。もう少しよく鳴る楽器だったら、と思わせる箇所もあった。だが、慈しむように作り出す音色はこの上なく魅力的。ガサノフはこの楽器で音楽性に磨きをかけてきたのだ。

ガサノフはコンクール後、プロコフィエフのソナタや、チャイコフスキーの「憂鬱なセレナード」などの作品を収めたCD計2枚をリリース。現代ロシアの作曲家アレクサンドル・チャイコフスキーの弦楽四重奏曲集の録音にも参加するなど、活動の幅を大きく広げてきた。イタリアで学んだ後、現在はロシア国内を中心に演奏活動を行っている。

仙台市民交響楽団は、この交響的色彩が強い協奏曲に、高い集中力に対応した。松井は細部まで気を配った指揮でオーケストラの能力を十二分に引き出す。団員に随所で大胆に音を出させていたのが小気味よい。アマチュア演奏家は、こうして成長していく。

仙台国際音楽コンクール入賞者と市内のアマチュアオーケストラとの共演は、コンクール事務局(仙台市市民文化事業団)と各オーケストラの共催で2005年から続けられている。伸び盛りの優秀なソリストとの共演は、オーケストラの演奏能力の向上に大きな役割を果たしてきた。仙台市民交響楽団との共演はこれが6回目。54年の歴史を持つ楽団にとっても大きな刺激となっている。「優れたソリストにオケが引っぱられて見る見るうまくなる。全国のアマチュアオーケストラからうらやましがられている」(楽団幹部)という。おそらく「仙台初演」(同)だったシベリウスの組曲「歴史的情景」第1番の「序曲風に」をプログラムに載せられたのは、ガサノフとの共演があればこそだ。

アマチュアオーケストラとの共演で、世界に羽ばたき始めた若手の演奏、成長に触れられるこの企画は、国際音楽コンクールを持つ街の市民に与えられた特典と言えるかもしれない。「楽都仙台」の発展に欠かせないシリーズになったのは間違いない。

第8回仙台国際音楽コンクールでヴァイオリン部門2位に入賞したデニス・ガサノフ(ロシア)がコンクール後初めて仙台を訪れ、アマチュアオーケストラ、仙台市民交響楽団の第88回定期演奏会にソリストとして出演した(2024年6月16日、日立システムズホール仙台)。曲目はシベリウスのヴァイオリン協奏曲。繊細な音色と卓越した技巧を駆使して独自の世界を構築、満席の聴衆に鮮烈な印象を与えた。指揮は松井慶太。

第1楽章の冒頭、4部に分割されたヴァイオリンが刻む和音に載せてガサノフが第1主題を奏でた瞬間、会場の雰囲気が変わった。磨き抜かれた、透徹した響きは、酷寒の地・北欧の空気を思わす。この協奏曲にふさわしい、そして不可欠な音色だ。

ガサノフが非常に優れた技巧の持ち主であることはコンクールで証明済み。音程の正確さ、リズム処理の巧みさは非の打ち所がない。シベリウスがヴァイオリンの可能性を追求するため目いっぱい技巧を凝らした箇所も、難なく弾きこなす。表情付けは細部までよく練られ、作品に漂う郷愁や寂寥感も存分に表現した。清爽な歌心も垣間見せる。

圧倒的な技巧の持ち主とはいえ、ガサノフはそれを前面に出すことはない。激しい情熱をぶつけるスタイルでもない。求道者のように、作曲家の意図、作品の本質に愚直に迫っていく。この協奏曲も細部まで少しも妥協することなく研究を重ねてきたのだろう。

第1楽章中ほどのカデンツァは鬼気迫る集中力で弾き切った。第2楽章の交錯する複雑なリズムの処理は見事で、最後の8小節で弱音が美しく響いていたのも印象に残る。第3楽章の重音奏法はごく自然に奏で、終盤のフラジオレットも美しく響かせた。フラジオレットがこの作品に不可欠な要素であることを、改めて認識させられた。



## 第9回仙台国際音楽コンクール出場申込受付を開始しました！

2024年7月10日(水)より、第9回仙台国際音楽コンクール出場受付を開始しました。1995年1月1日以降に出生した全世界の音楽家が対象です。申込締切は2024年10月23日(水)。その後、予備審査を経て、2025年2月12日(水)までに各部門概ね36名の出場者が決定します。

コンクール開催概要および申込方法は仙台国際音楽コンクール公式サイトからご覧いただけます。



コンクール公式サイト



### ヴァイオリン部門概要

- ・開催期間:2025年5月24日(土)～6月8日(日)
- ・会場:日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
- ・出場資格:1995年1月1日以降に出生したもの
- ・運営委員長:植田 克己
- ・審査委員長:堀米 ゆず子
- ・課題曲:協奏曲を中心に構成
- ・審査構成:予選、セミファイナルおよびファイナルの各審査段階で構成する。コンクールの出場者を決定するために、動画データ等の提出物による予備審査を行う。
- ・オーケストラ:  
【予選】  
仙台フィルハーモニー管弦楽団及び山形交響楽団(指揮者なし)  
【セミファイナル、ファイナル】  
仙台フィルハーモニー管弦楽団(指揮:広上 淳一)

### ピアノ部門概要

- ・開催期間:2025年6月14日(土)～6月29日(日)
- ・会場:日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
- ・出場資格:1995年1月1日以降に出生したもの
- ・運営委員長:植田 克己
- ・審査委員長:野平 一郎
- ・審査構成:予選、セミファイナルおよびファイナルの各審査段階で構成する。コンクールの出場者を決定するために、動画データ等の提出物による予備審査を行う。
- ・オーケストラ:  
【セミファイナル、ファイナル】  
仙台フィルハーモニー管弦楽団(指揮:高関 健)

## 第9回仙台国際音楽コンクールボランティアスタッフを募集しています

2025年に開催する第9回仙台国際音楽コンクールの開催に向けて、一緒に活動していただけるボランティアを会場運営・広報宣伝サポート・出場者サポート・ホームステイ受入れの4部門で募集します。

<申込方法> 仙台国際音楽コンクール公式サイト内ボランティアお申し込みフォーム (<https://simc.jp/volunteer/form>)

もしくは申込書に必要事項を記入の上、下記申込先まで提出してください

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5 仙台市市民文化事業団音楽振興課

<申込期限> 2024年7月31日(水)必着